

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

## 日本精化株式会社（証券コード:4362）

### 【据置】

長期発行体格付	BBB+
格付の見通し	安定的

### ■格付事由

- ウールグリースなどの天然油脂を基礎原料とする化学メーカー。主力の工業用製品事業では、化粧品原料や医薬用リン脂質、樹脂フィルム用滑剤などを手掛ける。ウールグリースを精製したラノリンやコレステロールのシェアは世界トップクラス。子会社のアルボースを中心に、業務用石鹸や手指消毒剤などの家庭用製品事業も展開する。化粧品原料の多品種少量生産などに強みを持ち、販売先は幅広く、収益源は分散している。
- 近年の業績は堅調である。化粧品原料や医薬用リン脂質などの販売増を背景に、20/3期は3期連続で増収営業増益を確保し、営業利益は過去最高を更新した。新型コロナウイルス感染拡大に伴う化粧品や工業用製品の需要減の動向に注意は必要だが、主要製品の競争力は保たれており、今後も一定のキャッシュフロー創出力を維持できるとJCRではみている。また、実質無借金であるなど良好な財務体質が維持されている。以上により、格付を据え置きとし、見通しを安定的とした。
- 当社の21/3期の業績予想は売上高275億円（前期比5.3%減）、営業利益28億円（同23.1%減）であり、新型コロナウイルス感染症の影響を一定程度織り込んだものである。足元では化粧品原料や自動車向け素材の販売にマイナスの影響が生じつつある半面、医療・介護施設向けの感染症対策製品が好調である。付加価値が高い医薬用リン脂質の販売も伸長しており、当社は同製品のさらなる販売増を見据えた新プラントの建設に着手した。当社の製品と販売先は分散しており、収益基盤は安定している。
- 20/3期末の自己資本比率は79.4%、借入金がゼロであるなど財務基盤は強く、財務運営は手堅い。設備投資負担は比較的小さく、フリーキャッシュフローは14/3期よりプラスが続いている。21/3期以降は、医薬用リン脂質の生産設備の増強などにより、設備投資支出がこれまでより高水準で推移する可能性がある。ただ、手元資金と営業キャッシュフローで対応できる見通しであり、財務面への影響は限定的と考えられる。

（担当）藤田 剛志・佐藤 洋介

### ■格付対象

発行体：日本精化株式会社

### 【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	BBB+	安定的

## 格付提供方針に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2020年6月25日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：窪田 幹也  
主任格付アナリスト：藤田 剛志
3. 評価の前提・等級基準：
 

評価の前提および等級基準は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
 

本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)、「化学」(2012年3月26日)として掲載している。
5. 格付関係者：
 

(発行体・債務者等) 日本精化株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
 

本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。

本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関しての JCR の現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。

本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCR が格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
  - ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
  - ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
 

JCR は、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. JCR に対して直近 1 年以内に講じられた監督上の措置：なし

### ■留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

### ■NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則 17g-7(a) 項に基づく開示の対象となる場合、当該開示は JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

### ■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

**株式会社 日本格付研究所**

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル